

研究開発だより Vol.5

「光輝(かがやき)」で資質・能力を働かせ、輝いている子どもたちの様子をお届けいたします!

光輝やその取組の中で育まれた子どもたちの日常の1コマ

これまでの研究開発だよりでは、光輝の目的や意義、さらにそれを踏まえた実践事例などをお伝えしました。また、レジリエンスに着目し、未体験の困難な状況を乗り越える上でも不可欠な資質・能力を育む実践に励んできました。今回は、そのような視点を振り返りながら、光輝やその取組の中で成長した子どもたちの日常の様子を紹介したいと思います。

今年度は新たな取組として「ドキュメンテーション」を作成してきました。「ドキュメンテーション」は、子どもの活動を写真や動画、音声、文字などで視覚的に記録したもので、子どもの思考・探究活動を具体的に記録し、子ども自身が活動を振り返り次の活動へ生かすことを目的としています。もともとイタリアのレッジョ・エミリア市から発祥した教育思想のひとつで、現在の日本

では、幼児教育(保育)の文脈でドキュメンテーションを「保育活動記録の見える化」「保育で行った事を記録」といった意味合いで用いられていることが多いといわれています。*

学校園では、この「ドキュメンテーション」を校種に関係なく、幼小中いずれも取り組み、作成してきました。今回は、それぞれの校種より1つずつ紹介していきたいと思ひます。



『せみ探検』

草むらにせみが1匹死んでいるのを見つけた子どもたちの一場面。

「ねえねえ、せみさん死んでるよ!」
「どこどこ?」
「ほんとだ〜!!」
「なんで死んだんかね?」
「おなかすいたけんじゃない?」
「いじわるされたんじゃない?」
「あつくてつかれたんじゃない?」
「せみさん、かわいそうだね…」

死んでいるせみを見つけて、いろいろなことを感じ取って言葉にしている子どもたち。

それぞれの感じ取った思い一つ一つを大切にしながら、いろいろなことに思いを寄せることができる、そんな心豊かな子どもたちに育ってほしいです。

図1 幼稚園でのドキュメンテーションの例



4月当初は、「みんなが、おれの話をお聴いてくれない!」と嘆いていたあなた。

悩んで悩んで、「しんどいわ、いやや〜」と言っていたあなた。

6月のあなたのそのまなざしに、班のみんなは、心と心をつなげています。

決してあなたの悩んだ時間は、むだではありませんでした。

あたたかい班をつくりましたね。

図2 小学校でのドキュメンテーションの例



私たちの生活の便利さや快適さの追求の代償なのか…

近年、頻発する気象災害や土砂災害、そして夏季の耐え難い猛暑など私たちを取り巻く自然環境は大きく変化している。それは地球温暖化によるところが大きい。温暖化の解決のためには、CO₂などの温室効果ガスの排出を抑えることが大切。

Think Globally, Act Locallyを踏まえ
私たちができることは何か…

節電に心がける
ものを節約して使う
ゴミの排出を減らす
地域の自然の保全活動に取り組む
打ち水やグリーンカーテンなど
自然を利用して涼しさを感じるetc...

私たちはエアコンなしで生活を営むことが困難になった。しかし、その中でも心構えや工夫でできることはある。

ひと
他人事ではなく、自分事としてとらえ、身近な小さなところからはじめよう。その積み重ねがやがては実を結ぶはず…

図3 中学校でのドキュメンテーションの例



研究開発だより(カラー版)

研究開発だよりをご覧いただきありがとうございます。
学校園ホームページから、カラー版を閲覧できます。
よろしければぜひご覧ください。



学校園ホームページ「研究開発だより」URL

https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_mihara/R5kenpatsudayori

研究開発だよりの アンケートにご協力ください

研究開発だよりをご覧いただきありがとうございます。
子どもたちのよりよい学びにつなげるため、こちらのアンケートにご協力をお願いいたします。



アンケートフォームURL

<https://forms.gle/DcQTrsdXrY3Za4VD8>